

④—いきいきとした都市

2 街づくり

都心、副都心などは商業、業務活動の場であると同時に、市民が買物やレジャーを楽しむ場でもある。首都圏の中核都市としてふさわしい都心機能や、地域の拠点として商業、業務機能の集積を図っていくとともに、魅力ある人間性豊かな環境をつくりだしていく街づくりが必要である。

また、生活の場としての住宅地も、安全で快適な環境をもつ街にしていかなければならない。

このため横浜市では道路、鉄道網などの都市基盤施設の整備、再開発事業や土地区画整理事業を進め、都心、副都心などや良好な住宅地の形成に努めてきた。また歩行者のためのモール、プロムナードや広場の

整備と、それにふさわしい街並みにしていくなど街づくりを進めてきた。

■都心や地域拠点の整備

横浜駅周辺や関内・伊勢佐木町地区を都心とした横浜の都心部の交通条件は、幹線道路・高速道路や鉄道の整備により飛躍的に改善され、それに伴って商業・業務機能の集積も進んでいる。横浜駅周辺では五五年に地下街やターミナルビルが新しく完成し、五六年には東西自由通路が全面開通。さらに、東口の交通広場も完成し、東口と西口の一体化が進んだ。

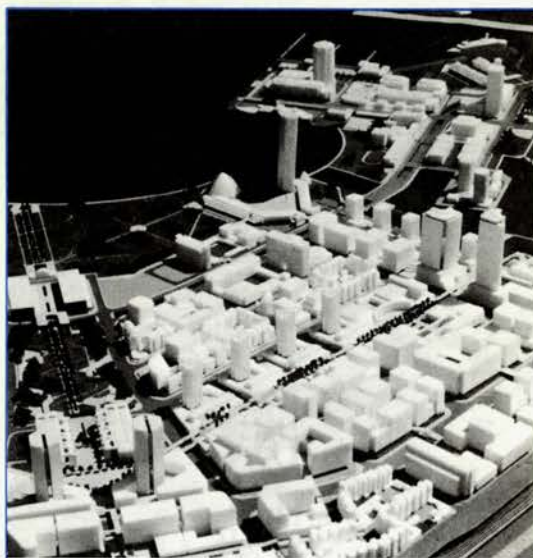
また、関内駅周辺では馬車道、伊勢佐木町一、二丁目がモール化され、五七年には三、四丁目のモール化も行われた。これにより、市民に親しまれる商店街としてよみがえり、市外からの来街者もふえるなどにぎわいを増している。野毛三丁目の市街地再開発事業も個別の建て替えではなく、地域ぐるみで魅力ある街づくりをめざし五八年完成の予定である。

このように、商店街の再整備や再開発の動きも活発になってきている。

地域に活力と魅力をつくり出すため、主要駅前を中心に拠点としての整備が進められている。鶴見駅西口の市街地改造事業や戸塚駅東口の市街地再開発事業も着々と進んでいる。また、上大岡ではバスターミナルが五五年に完成し、駅前の交通混雑がかなり緩和された。東戸塚では駅開設に伴い駅前の開発も行われ、金沢八景では駅に新交通システムの乗入れが決定し、地元の再開発気運が高まっている。



鶴見駅西口市街地改造完成予想図



「みなとみらい21」模型

■「みなとみらい21」を推進

「みなとみらい21」は、関内・伊勢佐木町地区と横浜駅地区の間の海沿いの地域を一部埋立て、一八六haの土地に、交通至便な立地条件を生かして新しい都心を創出する計画である。この計画は、横浜市を三〇〇万人の大都市にふさわしい自立性と地域的一体性を持つ都市、首都圏の中核都市として整備していくための中心的プロジェクトである。

街づくりは、①横浜経済に新しい活力を

与える業務機能、市民生活を豊かにする文化機能などを集めた複合的都心の創造、②都心に融合した港湾機能の整備、③水際線を開放し、横浜のシンボルとなる水と緑の豊かな都市空間の形成、④情報、エネルギー、防災などについて先進的な都市システムの導入、を整備方針として進められる。

市民各層から長い間待ち望まれたこの事業は五六年に基本計画ができ、事業手法、事業主体が決まった後、横浜造船所の移転、都市計画決定などの法手続が着々と進んでいる。五八年から工事に着手し、七五年の完成を目標としている。

■新しい街をつくる

市街地の都市的利用を高め快適な住環境をつくるため、計画的に大規模な面整備を行っている。

接取地であった新本牧地区については、国際性豊かな街づくりをめざして五七年から区画整理事業を始めている。また快適な環境をつくり、土地の高度利用を図るため街づくり協定の具体化を図っており、その柱となる建築協定が結ばれた。



金沢区の並木団地の生活道路

金沢シーサイドタウンの並木団地では、歩行者専用道路を中心として、さまざまなタイプの住宅を取り入れた街並みづくりを進めている。

商業・業務機能の集積と良好な住宅地の整備を目標に進められている港北ニュータウン建設事業では、集合住宅の建設も行われ、五八年秋から新しい街としての活動が始まる。ここでは自然を最大限に生かした公園や緑道をはじめとして、全地域にわたって歩行者専用道路網が配置されている。このほか、郊外地の計画的開発も着々と進んでおり、組合施行などの土地区画整理事業も五七年度末現在で一二地区六四二haが行われている。